

株主の皆様へ



森下仁丹株式会社
第76期中間事業報告書

(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)

証券コード：4524

ごあいさつ

株主の皆様には平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに当社グループの第76期中間期（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。よろしくご高覧賜り、今後ともより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

事業の概況

当中間連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景とし国内景気持ち直しの動きがあったものの、長引く欧州債務危機、円高の長期化、個人消費の低迷等により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの属する業界も、健康意識の高まりが持続しているものの、消費者の生活防衛意識による価格選好意識の高まりや相次ぐ大手企業の新規参入による競合激化など当社グループを取り巻く環境は依然として厳しいものとなっております。

このような状況のなか、当社グループとしては「伝統と技術と人材力を価値にする」をビジョンとして期初から積極的な諸施策・諸活動を展開しております。またロート製薬株式会社との共同販売会社である株式会社メディケアシステムズを解散したことから、本年7月より国内小売店向けビジネスを当社独自のルート販売で再スタートしました。その結果、売上高は4,786百万円と前年同中間期と比べ621百万円（14.9%）の増収となりました。

利益面においては主力商品「ビフィーナ」が引き続き好調に推移し、また国内小売店向けビジネス直販による売上増加などで、売上総利益は2,581百万円と前年同中間期と比べ320百万円（14.2%）の増益となりましたが、上記の国内小売店向けビジネス販売体制再構築に伴う費用の増加及びプロモーション活動の費用増加、並びにカプセル受託事業の新規分野への研究開発投資などが影響し、営業損失は57百万円と前年同中間期と比べ220百万円の減益となりました。

さらに営業外損益を加えた経常損失は40百万円と前年同中間期と比べ213百万円の減益となり、補助金収入の特別利益を含めた中間期純損失は27百万円と前年同中間期と比べ214百万円の減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

ヘルスケア事業

当セグメントにおきましては、主力商品「ビフィーナ」の売上高は1,593百万円と前年同中間期と比べ394百万円（32.9%）の増収と引き続き好調に推移いたしました。また、緑茶青汁等他通販商品群が苦戦を強いられました。また、口内炎治療薬などOTC医薬品は順調に伸展しております。その結果、ヘルスケア事業の売上高は3,420百万円と前年同中間期と比べ471百万円（16.0%）の増収となりました。

損益面では、売上増加と原価率の低減があったものの、先行投資的なプロモーション費用増加が影響し、セグメント損失は70百万円と前年同中間期と比べ107百万円の減益となりました。

カプセル受託事業

当セグメントにおきましては、医療品分野の自社製品「ソルミラン」やフレーバーのカプセル受託は前年に引き続き順調に推移し、売上高は1,334百万円と前年同中間期と比べ151百万円（12.8%）の増収となりました。

損益面では、工業用等の新規分野での研究開発負担等経費の増加によりセグメント利益は19百万円と前年同中間期と比べ118百万円の減益となりました。



代表取締役社長
村村 純一

当中間連結会計期末の総資産は、12,480百万円と前連結会計年度末と比べ571百万円（4.8%）の増加となりました。総資産の内訳は、流動資産が4,380百万円と前連結会計年度末と比べ247百万円（6.0%）の増加となり、固定資産が8,099百万円と前連結会計年度末と比べ323百万円（4.2%）の増加となりました。流動資産の増加の主な要因は、売上債権の増加、たな卸資産の増加、固定資産の増加の主な要因は、設備改修中の滋賀工場の建設仮勘定の増加によるものであります。

当中間連結会計期末の負債合計は、4,931百万円と前連結会計年度末と比べ703百万円（16.6%）の増加となりました。負債の内訳は、流動負債が2,650百万円と前連結会計年度末と比べ21百万円（0.8%）の減少となり、固定負債が2,280百万円と前連結会計年度末と比べ724百万円（46.6%）の増加となりました。流動負債の減少の主な要因は、設備関係支払手形の減少、固定負債の増加の主な要因は、借入金の増加によるものであります。

当中間連結会計期末の純資産は7,548百万円と前連結会計年度末と比べ132百万円（1.7%）の減少となりました。純資産の減少の主な要因は、中間期純損失が27百万円となったことなどによるものであります。

【キャッシュ・フローの状況】

当中間連結会計期末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、1,399百万円と前連結会計年度末と比べ459百万円（24.7%）の減少となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結累計期間における営業活動による資金の減少は205百万円（前年同中間期連結累計期間は534百万円の増加）となりました。その主な要因は、税金等調整前中間純損失24百万円、減価償却費249百万円、売上債権の増加530百万円、たな卸資産の増加148百万円、仕入債務の増加206百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

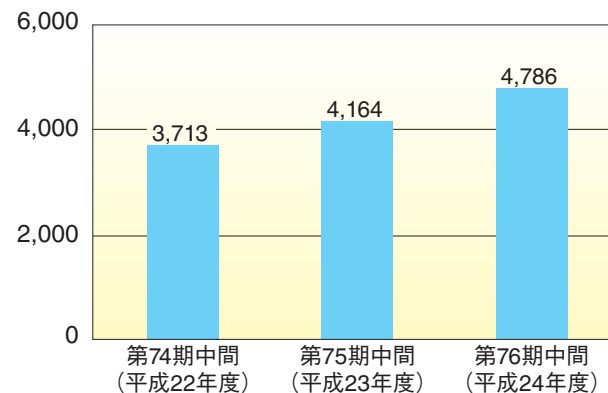
当中間連結累計期間における投資活動による資金の減少は1,010百万円（前年同中間期連結累計期間は129百万円の減少）となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得977百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結累計期間における財務活動による資金の増加は756百万円（前年同中間期連結累計期間は100百万円の減少）となりました。その主な要因は、長期借入れによる収入900百万円、長期借入金の返済87百万円、配当金の支払155百万円によるものであります。

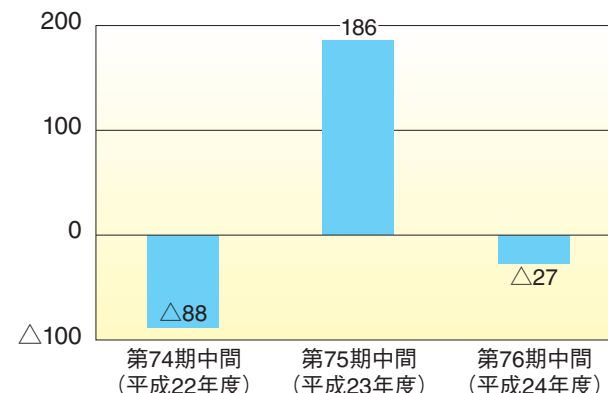
◆売上高（連結）

（単位：百万円）



◆中間純利益（連結）

（単位：百万円）



中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別		科目	期別	
	当中間連結 会計期間 (平成24年9月30日現在)	前連結 会計年度 (平成24年3月31日現在)		当中間連結 会計期間 (平成24年9月30日現在)	前連結 会計年度 (平成24年3月31日現在)
(資産の部)					
I流動資産	4,380	4,133	I流動負債	2,650	2,671
現金及び預金	1,399	1,858	支払手形及び買掛金	1,155	948
受取手形及び売掛金	1,536	1,005	短期借入金	100	-
商品及び製品	590	539	1年内返済予定の長期借入金	250	150
仕掛品	367	300	未払法人税等	14	22
原材料及び貯蔵品	286	255	賞与引当金	147	123
その他	209	182	返品調整引当金	17	17
貸倒引当金	△ 8	△ 8	その他	966	1,409
II固定資産	8,099	7,776	II固定負債	2,280	1,556
(1)有形固定資産	6,658	6,405	長期借入金	1,412	700
建物及び構築物	2,424	2,499	繰延税金負債	497	504
機械装置及び運搬具	836	887	退職給付引当金	354	334
土地	2,025	2,025	その他	16	16
建設仮勘定	1,023	651	負債合計	4,931	4,227
その他	348	341	(純資産の部)		
(2)無形固定資産	201	178	I株主資本		
(3)投資その他の資産	1,239	1,191	資本金	3,537	3,537
投資有価証券	1,069	1,020	資本剰余金	963	963
その他投資等	176	178	利益剰余金	3,141	3,321
貸倒引当金	△ 7	△ 7	自己株式	△ 134	△ 133
資産合計	12,480	11,909	IIその他の包括利益累計額		
			その他有価証券評価差額金	40	△ 7
			純資産合計	7,548	7,681
			負債・純資産合計	12,480	11,909

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間
		(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)	(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)
I売上高		4,786	4,164
II売上原価		2,205	1,904
売上総利益		2,581	2,260
III販売費及び一般管理費		2,638	2,097
営業利益又は営業損失(△)		△ 57	162
IV営業外収益		27	23
V営業外費用		10	13
経常利益又は経常損失(△)		△ 40	173
VI特別利益		20	28
VII特別損失		4	1
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)		△ 24	199
法人税、住民税及び事業税		7	10
法人税等調整額		△ 4	3
少数株主損益調整前中間純利益又は少数株主損益調整前中間純損失(△)		△ 27	186
中間純利益又は中間純損失(△)		△ 27	186

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間
		(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)	(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		△ 205	534
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,010	△ 129
財務活動によるキャッシュ・フロー		756	△ 100
現金及び現金同等物の増減額		△ 459	303
現金及び現金同等物の期首残高		1,858	1,685
現金及び現金同等物の中間期末残高		1,399	1,988

会社概要（平成24年9月30日現在）

役員

代表取締役社長	駒村純一	監査役	渡邊俣治
取締役名誉会長	森下美恵子	監査役	澤田侑己
取締役	武貞文隆	常務執行役員	高田真一
取締役	木村雅則	執行役員	目黒一夫
監査役(常勤)	高橋優夫	執行役員	森下雄司

(注) 監査役のうち渡邊俣治、澤田侑己の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

商号 森下仁丹株式会社 MORISHITA JINTAN CO., LTD.

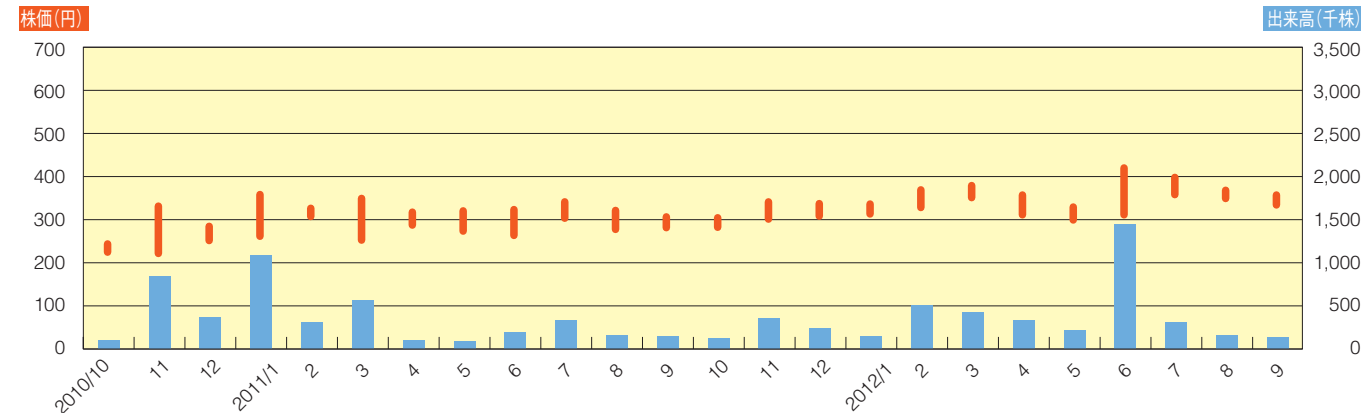
資本金 35億3,740万円

事業の内容 医薬品、医薬部外品、医療用具、化粧品、食品および雑貨等の製造販売

事業所および工場

本社	大阪市中央区玉造一丁目2番40号	電話 (06) 6761-1131 (代表)
大阪テクノセンター	大阪府枚方市津田山手二丁目11番1号	電話 (072) 800-1040
滋賀工場	滋賀県犬上郡多賀町大字四手諏訪960番地12	電話 (0749) 48-7370
東京オフィス	東京都千代田区神田富山町10番地2 アセンド神田ビル6F	電話 (03) 6206-8138

株価および出来高推移



トピックス

《新製品のご紹介》

2012年9月26日(水)より愛知県に展開するmano**で新発売**
「何だかスッキリしない」「美容食品を試してもあまり実感が…」という女性に向けたサプリメント
「ビフィーナ®beauty」
ビフィズス菌12.5億個とキレイのためのビタミン(B₂・B₆・B₁₂・C・E・葉酸)1日分配合

「何だかスッキリしない」「美容食品を試してもあまり実感が…」という女性に向けた、内側からのキレイをサポートする栄養機能食品

【商品特徴】

- ① 胃酸に弱いビフィズス菌を生きのまま腸まで届ける
森下仁丹独自の耐酸性ダブルプロテクトカプセルが、胃酸に弱いビフィズス菌を守り、生きのまま腸まで届けます。
- ② キレイのためのビタミン1日分配合
ビタミンCをはじめ、ビタミンB₂・B₆・B₁₂・E・葉酸といったキレイのためのビタミンを1包中に1日分を配合しました。
- ③ ヨーグルト1個分(100g分)のカルシウムを配合
- ④ マンゴー風味のスティックタイプだから、水なしで手軽にサッと飲める
- ⑤ カロリーは1包(1日分)で2.3kcal



商品名	ビフィーナ®beauty
内容量	20包(20日分)
価格	1,380円(税込)

《海外展示会の出展を拡大 —アジアへの積極展開を目指しています—》

今期からは、従来の欧米のみならず、アジア諸国への積極展開を図っています。展示会の内容としましては、海外でのシームレスカプセルの製造受託や独自素材及び製品の紹介を行っており、アジアでの事業拡大を期待しています。

- ◆ 今期から新たに出展
 - ・中国上海健康食品素材展 Health ingredient China (6/25~6/27)
 - ・香港健康食品素材展 Vitafoods Asia (9/5~9/7)
- ◆ 従来からの出展
 - ・マドリッド[スペイン] 医薬品受託展示会 Convention of Pharmaceutical Ingredient (10/9~10/11)
 - ・ラスベガス[アメリカ] 健康食品素材展 Supply Side West (11/7~11/8)
 - ・フランクフルト[ドイツ] 健康食品素材展 Health ingredient Europe (11/13~11/15)



Supply Side West (アメリカ)



株主メモ

事業年度末日	3月31日
剰余金受領株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
定時株主総会	6月中
公告の方法	電子公告 (http://www.jintan.co.jp) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告に公告することができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
金融商品取引所	株式会社大阪証券取引所 市場第二部 株式会社東京証券取引所 市場第二部
株主名簿管理人 特別口座口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話料無料) 0120-094-777